



静かに始まっている "貢献資本社会"

～AmazonもGoogleもすでに動いている。見えない努力が報われる時代に、まだ気づいていないのは私たちだけかもしれない～

TS

作成者：Tomoo Suzuki

なぜ今この話をするのか



時代の転換点

成果や売上だけが評価される時代は終わりつつあります。



見えない価値の可視化

「信頼」「貢献」「対話の質」といった目に見えなかった価値が、可視化され、経済に反映される社会が近づいています。

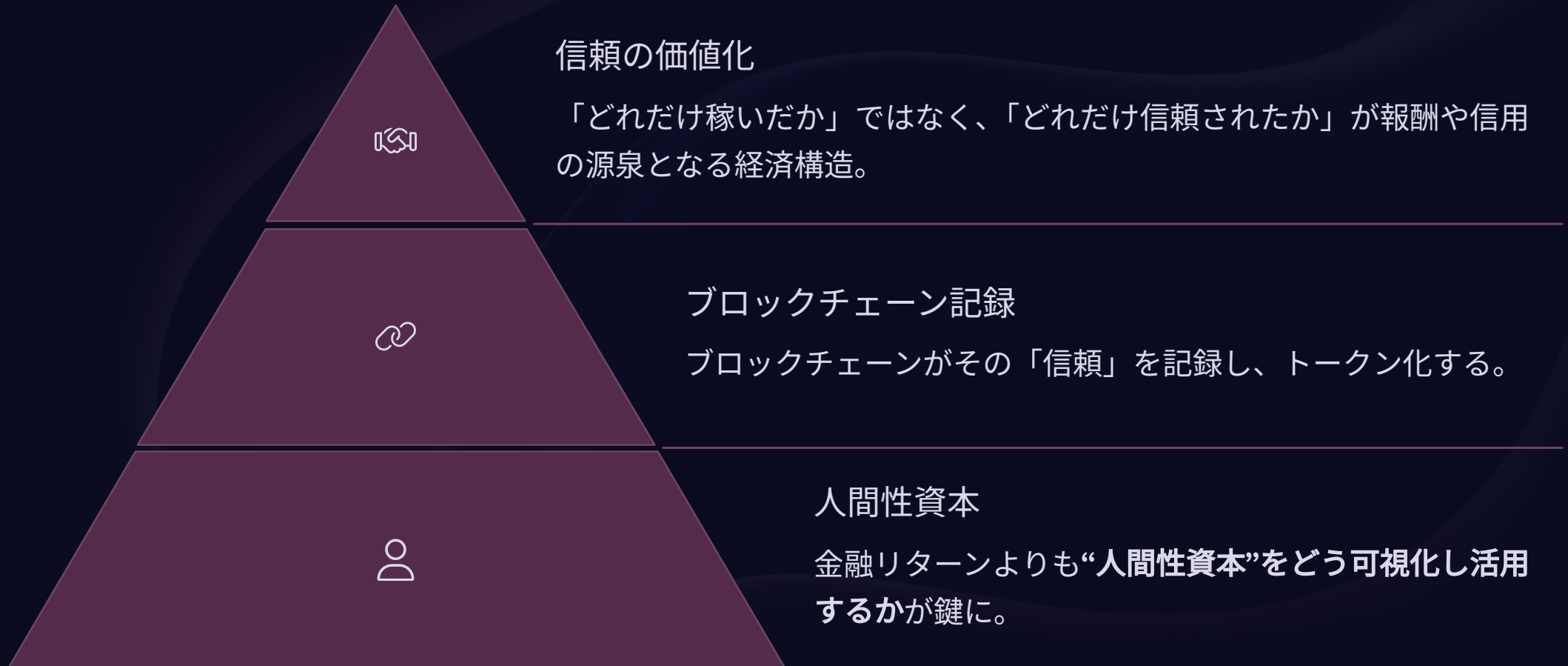


すでに始まっている現実

これは感覚や理想論ではなく、すでに一部始まっている現実です。



信頼が通貨になる経済：Reputation-Fi



DeSoc と Soulbound Token が切り拓く次世代の評価軸



分散型社会（DeSoc）

Ethereum創設者Vitalikらが提唱する新しい社会構造



SBT（Soulbound Token）

学歴や寄付、社会貢献などを譲渡不可のトークンとして証明



信頼＝履歴＝資産

Web3上に個人の履歴・信用・貢献が記録される世界へ

先行事例1：Gitcoin Passport (信頼スコアの社会実装)

横断的接続

SNS、GitHub、寄付などの行動を横断的に接続し「信頼スコア」を生成します。

影響力の向上

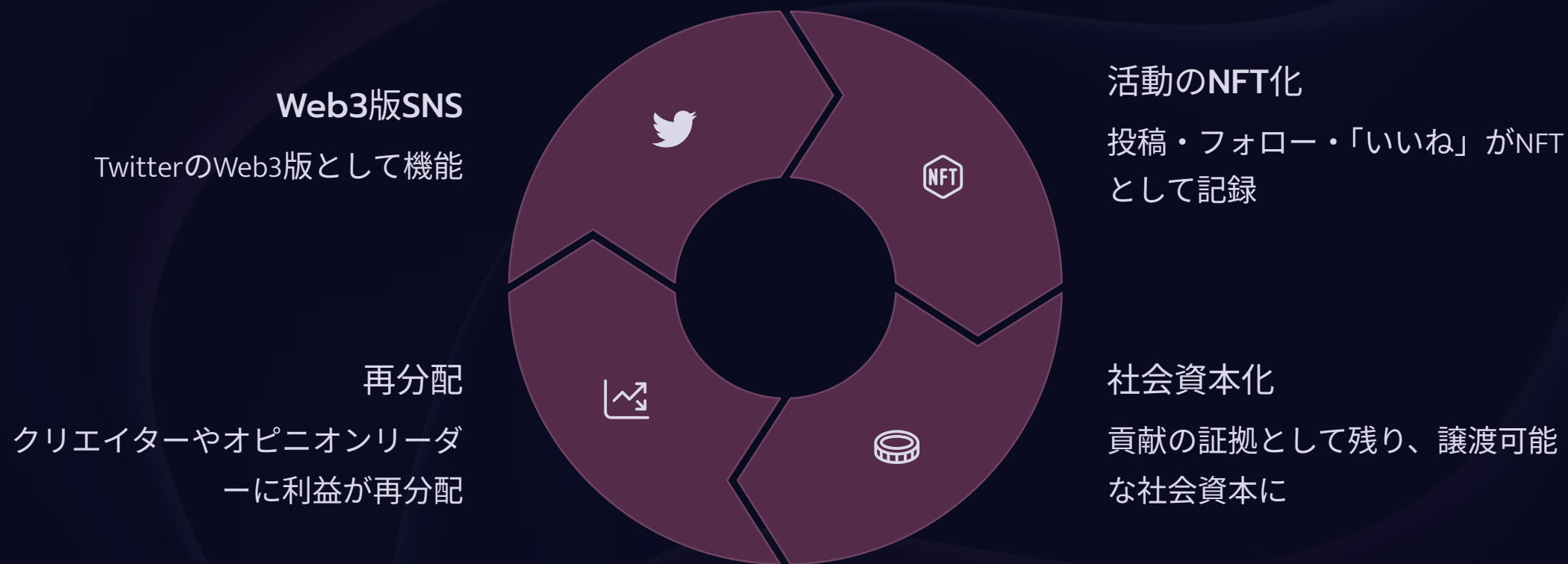
スコアが高いほど、プロジェクトへの寄付影響力が高まり、正当な影響力が可視化されます。

真の信用評価

匿名・偽装アカウントを排除し、本当の「信用」が評価される環境を実現します。



先行事例2：Lens Protocol（貢献のNFT化）



SNSだけが評価対象ではない：裏方を救う設計思想

他者からの証明

POAP(※1)、Kudos(※2)などのツールで、他者が貢献を認証できます。

※1: Proof of Attendance Protocol 「あるイベントに“参加したこと”をブロックチェーンで証明するNFT（デジタルバッジ）」

※2: 「誰かの貢献・助け・スキルを称賛するためのWeb3版“ありがとう”NFT」

メンバー相互評価

Coordinapeなどで、チーム内での貢献を相互に評価します。

非公開貢献の秘匿証明

ZK技術により、プライバシーを守りながら貢献を証明できます。

会議貢献の評価

「話し合いを整理した」「会議を建設的に進めた」も貢献として評価されます。

会話・対話・空気感の"寄与"すら可視化される未来



AI解析

AIが会話・Slack・会議の論点・感情・合意形成まで解析可能になります。



貢献度スコア化

「誰が合意形成にどれだけ貢献したか」もスコア化されます。



プライバシー保護

ZK（ゼロ知識証明）により、プライバシーを守ったまま「この成果に27%貢献」と証明できます。

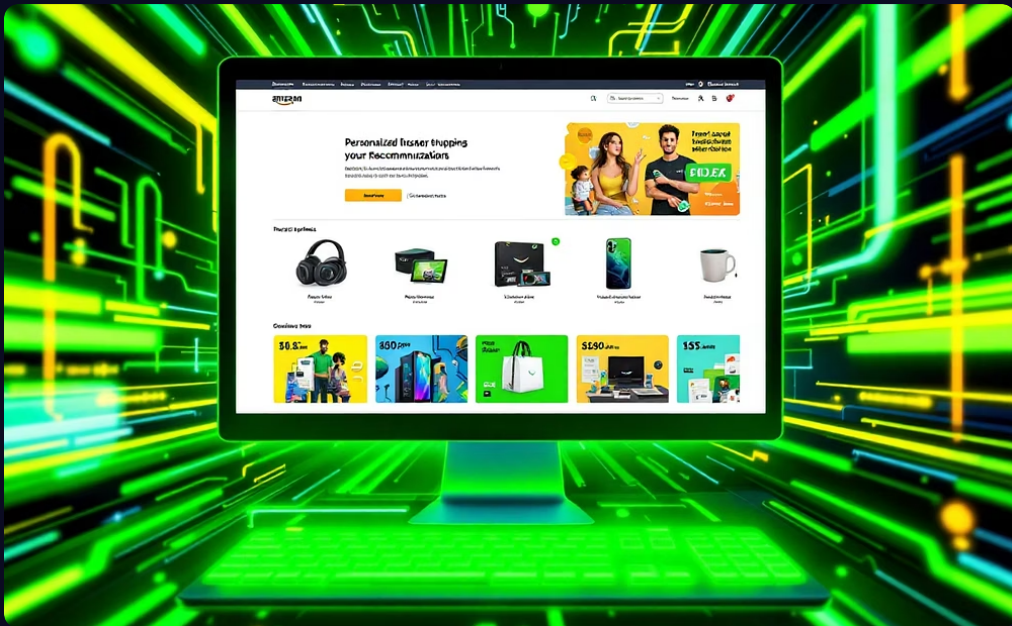


実装進行中

静かに進行中の変化：既にPoC実装や事例も登場しています。



すでに始まっている：AmazonやLLMが示す近未来



Amazon個別最適化

Amazonの価格やレコメンドはユーザーの信頼・行動パターンに基づき個別最適化されています。



コンテキスト応答

Google検索やLLM（ChatGPT等）の応答も、文脈・履歴・傾向により変化します。



スコアベース調整

これらはすべて、「誰に、何を、どのように返すか」がスコアベースで調整されている世界です。

→ 技術的には既に実装済。問題は我々の備えと意識の転換。

最後に：変化を先取りする側に立とう



技術投資とPoC実施

社内での実証実験に取り組みましょう



日常業務から測定

DiscordやMeetなど日常業務から貢献度を測定する小実験



戦略的人的資本経営※

感覚や序列ではなく、信頼と行動に基づく人材評価＝
「戦略的人的資本経営」への転換

※「AI+信頼スコア+ZK」によって、“感覚では拾いきれなかった
貢献”を見える化し、人材の価値を最大化する経営」

見えない努力、静かな貢献に報いる組織こそが、**次の時代の勝者**になります。